

(参考様式5)

事業活用活性化計画目標評価報告書

計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
宮崎県・宮崎市	452017	1	平成21年度から 平成22年度まで	平成21年度
活性化計画の区域				
宮崎県宮崎市高岡町 花見地区				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率 (%) B/A	備考
定住等の促進に資する基盤整備の円滑化	1年	1年	100%	

(コメント)

目標の達成により、平成22年度に県営土地改良事業が採択されたことを受け、現在、事業を実施中である。

2 目標達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
基盤整備 (農用地等集団化)	経営体育成促進換地等調整事業 25ha		宮崎市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
—	平成21年度	平成21年度	—
事業の効果			
<p>本事業の実施により、県営土地改良事業を活用して基盤整備を実施し、農地の集積化を図ることが、営農環境の改善や高齢化・後継者不足の対策となるといった認識が地元へ広く浸透した。その結果、事業計画の決定に向けて合意形成が進展し、事業の着手につながった。</p> <p>また、基盤整備後の農地利用調整や機械の共同利用等を踏まえた、今後の集落営農を検討していく環境を構築することもできた。</p>			

### 3 総合評価

(コメント)

本事業の効果により目標は達成され、県営土地改良事業の着手に至った。

今後は、土地改良事業を着実に実施し、営農環境の改善や農業生産性の向上を図ることに  
より、定住等の促進を図っていくことが期待される。

### 4 第三者の意見

(コメント)

本事業の実施により、農地所有者に確実に農地集積や集団化の必要性が理解され、計画目  
標通り達成された。今後は、高齢化や後継者不足が課題となることが予測される中で、より  
具体的な土地利用方式や機械利用組織などの話し合いや提案が行われることが期待される。

(九州大学大学院農学研究院 教授 福田 晋)